

北信教育事務所だより

第5号

～教師・学校・地域がつながるために～

令和2年7月 21 日

with コロナ after コロナ 時代の 授業改善・家庭学習の工夫 （外国語活動・外国語編）

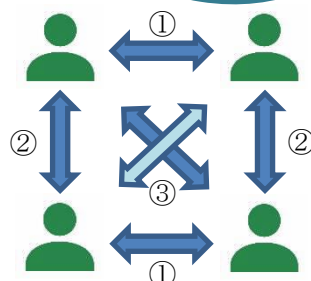


「ソーシャルディスタンス」と「話す活動」を
どうやって両立したらいいの？

言語活動
の工夫

○ ペア活動の工夫 （話すこと [やり取り] の言語活動で）

一定の距離を保ち、マスクの着用に配慮すれば、ペアでの対話活動も可能です。ただし、教室を自由に動いて相手を見つける形での言語活動を行うことは難しいと思われます。そこで、ペア活動を行う際は、子どもが席についたまま、①横ペア、②縦ペア、③斜めペアと相手を替えることで、子供同士の対話の機会を確保します。



○ 先生や ALT が話すときは、口元が見える工夫も

先生がマスクを着けていると表情や口の動きが見えないため、児童生徒によっては先生の話す英語が分からなかったり、話されている状況の理解ができなかったりする場合があります。そこで、スモールトークなどで話す場面を見せるときは、マスクを外しフェイスシールドやクリアファイルを口元にあてて行うなどの工夫も考えられます。



イメージ

家庭学習を
生かした
単元構想

授業時間の短縮もあって、
なかなか言語活動ができないなあ…



○ QRコードを活用して授業の言語活動の時間を確保する（小学校の例）

教科書の QR コードから各単元の音声や動画のコンテンツを視聴することができます。家庭で視聴できない児童への配慮を行った上で、児童がこれらのコンテンツを事前に視聴し、概要をつかんでから授業に臨むことで、授業での言語活動に多くの時間を割くことができます。

授業	家庭	授業	家庭	授業
単元の オリエンテーション	【QRコード】 扉絵の動画視聴	Small Talk 扉絵について	【QRコード】 音声教材視聴	音声教材の理解を 深めるやり取り

※中学校では、教科書会社がウェブサイトで公開している教材も活用できます。教科書本文や言語材料の解説動画とワークシートがあるので、予習を家庭で済ませ、学校の授業では、対話を中心とした言語活動を行うことができます。

with コロナ after コロナ 時代の 授業改善の工夫（国語編）



飛沫感染防止に配慮した言語活動をどう工夫したらいいの？

校内の緑化活動に取り組みたいと願っているAさん（中学2年生）は、国語の授業で、次のような意見文の文章構成を考えています。しかし「転」にあたる内容として何を取り上げたらよいか困っています。

起

生活の中の緑は、人の心を和ませてくれる。自分たちで工夫をして緑に親しめる環境を作りたい。

承

校地内に空きスペースがあるが、雑草が生えていたり、農具置き場になっていたりする。もっと有効に活用できそうだ。

転

？

何を書いたらいいのかな？



結

小さくても、花壇や畑を作って、土や緑に親しめる場所を作りたい。

これまで国語の授業では「音声言語」を用いて情報収集する言語活動が多くありました。しかし、右のように、「文字言語」を用いても、子どもたちは円滑な情報収集ができそうです。

集まった情報を整理し、伝えたいことを明確にしていくことは、国語の授業に限らず、教科横断的な視点で育成していきたい資質・能力です。

感染症拡大防止の配慮が必要とされるコミュニケーション活動の中で、文字言語のよさを生かした言語活動を工夫していきましょう。

《Aさんの学習問題》
自分の意見にあった文章構成を考えると「転」にはどんな話題を入れたらいいだろう？

Aさんはこのように学習問題を設定し、意見文の下書きに、次のような学習プリントを付けてグループの仲間に意見を書いてもらうことにしました。

（友だちに意見を聞きたいこと）

「転」の部分で一度話題をふくらめて、読み手に「あれっ？」と思わせる工夫をしてから、「結」につなげたい。「転」にはどんな話題を書いたらいいのか、考えを聞かせてください。

（ ）さん

（ ）さん

（ ）さん

（ ）さん

友だちからもらった情報を生かせたらいいな…

〇〇



Aさんのところに、友だちのいろいろな意見が書かれたプリントが戻ってきました。

（友だちからもらった「転」の内容の意見）

小学校の時はテラスにサンダルが置いてあった。廊下からすぐに外に出られると、花壇まで行きたくなるんじゃないかな。サンダルを提案してみたら？（Bさん）

SDGsについて学習した中に、「陸の豊かさを守ろう」という項目があった。小さな花壇づくりは、小さな社会づくりにつながっている。他の授業の話題を入れてみるのはどう？（Cさん）

地域の〇〇さんが花壇づくりをボランティアで手伝ってくれている。〇〇さんの紹介を入れてみるのもいいかも。（Dさん）

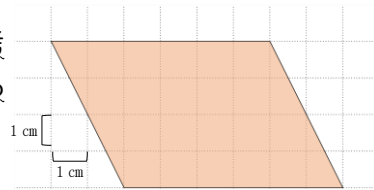
プリントに書いてもらった考えを、自分の意見文にあてはめて、じっくり考えてみるよ！



共同追究では、考えを広げ深めることがポイント！

算数の授業の共同追究では、本時のねらいに向けて、自分の考えと友の考えの共通点や相違点に着目しながら、自分の考えや集団の考えを広げ深めることができるようにすることが大切です。

5年「平行四辺形の面積」を例に、考えてみましょう。



【本時のねらい】面積の求められる図形に帰着させて、平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。

この授業では、①や②のような補助線を引いて面積を求めることが考えられます。どんな式で求めたかや面積が 24 cm^2 になることを確認した後に、普段、ここからどんな共同追究を展開していきますか。

主として共通点に着目した展開例



「この2つに共通した考え方は何でしょうか」

教師のこのような発問をきっかけにした子どもたちの話し合いの中で、平行四辺形を三角形や長方形などに分けて、平行四辺形の面積を求めていることに気づき、どちらも「**求積が可能な図形に分割するという考え**」をしていることを見だしていくことが考えられます。

また、②や③のような補助線を引き、面積を「 $4 \times 6 = 24$ 」という式で求めたという考え方が児童から出された場合は、次のような展開もできます。

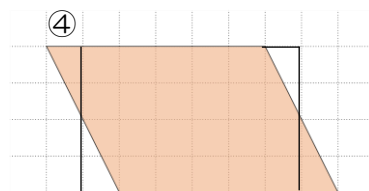
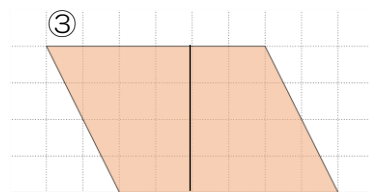
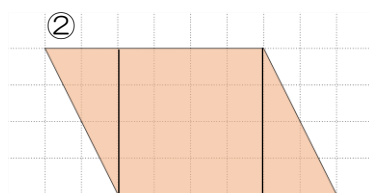
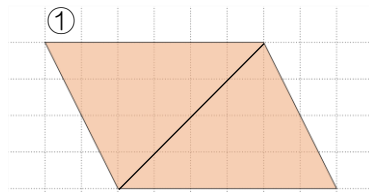
主として相違点に着目した展開例

「どのようにして、面積を 4×6 で求めることができたのでしょうか」



このように発問することで、式の「4」や「6」、そして乗法であることに着目することで、①の考え方とは異なる考え方である、平行四辺形を長方形に変形して面積を求めているといった「**求積が可能な図形に等積変形する考え**」という考え方をしていることを導くことができます。さらに、④のように違った補助線を引いて長方形に等積変形した児童の図を提示することで、考えを広げることも期待できます。

共同追究の視点を明確にし、答えの発表ややり方の確認で終わらないようにしましょう。



「レビュー問題」
更新中！！
新しい教科書に対応

小学校では、本年度から新しい教科書が使用されています。それに合わせて、総合教育センターの「レビュー問題」（小学校算数各学年）も新しい教科書の単元配列に合うように、問題の内容も含めて改訂を順次進めています。

【考えられる活用場面】

- 単元末における知識・技能、思考・判断・表現の評価問題として
- 1 時間の授業の終末に確認問題として
- 家庭学習として（日々の家庭学習、週末の家庭学習、長期休業の家庭学習）

トップページの「教育情報」または、「学校休業期間中の学習支援サイト」からアクセス



【小学校 1 年 算数】	
第 1 次	
1	ひしき、まじり
2	なまめい
3	くつく、くつく
4	いらいはな、おかし
5	ふんたふ、ふんたふ
6	たふふ(1)
7	むきき(1)
8	たふ、しら
9	いらい、おかし、おす
10	たふ、しら
11	おかし、くつく(1)
12	くつく、たふ、しら
13	たふふ(2)
14	くつく(2)
15	むきき(2)
16	おかし、しら、むきき
17	おかし、くつく、おす
18	くつく、たふ
19	おかし、くつく
20	おかし、くつく
21	くつく、くつく
22	くつく、くつく
23	くつく、くつく
24	くつく、くつく
25	くつく、くつく
26	くつく、くつく
27	くつく、くつく
28	くつく、くつく
29	くつく、くつく
30	くつく、くつく
31	くつく、くつく
32	くつく、くつく
33	くつく、くつく
34	くつく、くつく
35	くつく、くつく
36	くつく、くつく
37	くつく、くつく
38	くつく、くつく
39	くつく、くつく
40	くつく、くつく
41	くつく、くつく
42	くつく、くつく
43	くつく、くつく
44	くつく、くつく
45	くつく、くつく
46	くつく、くつく
47	くつく、くつく
48	くつく、くつく
49	くつく、くつく
50	くつく、くつく
51	くつく、くつく
52	くつく、くつく
53	くつく、くつく
54	くつく、くつく
55	くつく、くつく
56	くつく、くつく
57	くつく、くつく
58	くつく、くつく
59	くつく、くつく
60	くつく、くつく
61	くつく、くつく
62	くつく、くつく
63	くつく、くつく
64	くつく、くつく
65	くつく、くつく
66	くつく、くつく
67	くつく、くつく
68	くつく、くつく
69	くつく、くつく
70	くつく、くつく
71	くつく、くつく
72	くつく、くつく
73	くつく、くつく
74	くつく、くつく
75	くつく、くつく
76	くつく、くつく
77	くつく、くつく
78	くつく、くつく
79	くつく、くつく
80	くつく、くつく
81	くつく、くつく
82	くつく、くつく
83	くつく、くつく
84	くつく、くつく
85	くつく、くつく
86	くつく、くつく
87	くつく、くつく
88	くつく、くつく
89	くつく、くつく
90	くつく、くつく
91	くつく、くつく
92	くつく、くつく
93	くつく、くつく
94	くつく、くつく
95	くつく、くつく
96	くつく、くつく
97	くつく、くつく
98	くつく、くつく
99	くつく、くつく
100	くつく、くつく

シリーズ2 コロナ禍の中での 各学校の挑戦！

掲示編

各学校では、「新しい生活様式」に基づき、感染リスクを低減させる対策を取る中で、掲示物等を利用して互いの心を通わせたり、自主学習の成果を掲示したり、体を動かすことができる工夫をしたりする取組が行われています。今回は、その中で幾つかの取組を紹介します。

互いへのあたたかなメッセージを掲示する



特別支援学級の生徒が全校へ「みんなでコロナを乗り越えましょう！それぞれの願いを書いてください」と呼びかけ、全校で短冊に願いを込めて掲示した取組です。短冊には「今こそ気持ちを一つに！」等の願いが書かれています。

昇降口に「みなさんへのメッセージボード」コーナーを設け、互いを励ます言葉を掲示した取組です。お家の方からも「学校が始まってよかったですね」と、あたたかな言葉が書かれています。



自主学習の成果を掲示する取組



自主学習として作成した新聞レポートを廊下に掲示する取組です。

自分が気になった新聞記事を切り抜き、その内容を紹介し、感想や考えを記入しています。



「自学の力」を高めるために臨時休業中に生徒がまとめたノートを掲示し、紹介した取組です。図や言葉を使ってまとめたり、さらに学習が必要な分野について問題を解いて確認したりした取組が掲示してあります。

子どもたちの体力アップを推進する取組



臨時休業中に保護者からアンケートで体力の低下を心配する声が寄せられていました。そこで、通称「スポーツストリート」(幅3mほどの広めの廊下)に、子どもたちが自ら楽しく取り組める運動の「しかけ」をいくつも用意し、利用できるようにしています。

上の「スポーツストリート」には、跳ぶ、投げる、くぐる・またぐ等多様な動きができるような様々な「しかけ」があります。小学部低学年の子も取り組みやすいように、なじみのあるキャラクターからの挑戦、という設定にしています。また、右は、子どもたちの投げる力を伸ばす、名づけて「グレイтスロー」という「しかけ」です。



「信州こどもカフェ」をご存じですか？



全国では「こども食堂」等の名称で地域の実情に応じた様々な子どもの居場所の取組が行われています。

こうした中、長野県は、県内で行われている様々な子どもの居場所の取組の中で、学習支援、食事提供、悩み相談、学用品のリユース、高齢者との交流など複数の機能を提供し、月1回以上計画的に開催されているものを「信州こどもカフェ」という愛称で呼ぶこととし、取組の拡大を推進しています。



長野県公式ホームページで『信州こどもカフェ』や『地域プラットフォーム』に関する情報を発信しています。

📱 長野県公式ホームページ QR コード

「信州型コミュニティスクール北信地区活動だより」 をご活用ください



他の学校・地域は、どんな活動をしているのかな？
コミュニティスクールの充実に向けた活動が知りたい

北信教育事務所生涯学習課では「信州型コミュニティスクール北信地区活動だより」を発行しています。本たよりは、北信地域のコミュニティスクールの活動事例を紹介するものです。平成30年度より発行し、現在第14号までアップされています。

令和2年度に発行した13号と14号では、新型コロナウイルス対策を行う中での活動について紹介しています。

【こんな活用の仕方はいかがでしょう？】

- ・ 学校運営委員会の参考資料として委員のみなさんに配付する。
- ・ 職員研修の資料として活用する。

例：資料を見ながら今後の自校での活動を考えてみましょう

【ホームページからもお読みいただけます】

- ・ 活動だよりは、北信教育事務所のホームページにアップされています。これまでの活動だよりも、ぜひご活用ください。



信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 13（令和2年7月） 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

すべての公立小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下、「信州型CS」）の仕組みが整い、コミュニティスクールの充実に向けて、それぞれの学校や地域で工夫した活動が広がっています。第13号では、新型コロナウイルス感染症による休業後の活動についてお知らせします。

八幡小



「環境整備活動」

～子ども達のために何かしたい！という地域の声から～

■ 地域の皆さんの想いが活動につながる

休業が明けてから、学校現場でも「新しい生活様式」に従い、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの生活が続いています。千曲市では、子ども達や地域の方の安全を考慮し、ボランティアの皆さんの学校での活動を一時中止しています（令和2年6月現在）。

そんな中で、4年前からボランティアをされているNさんから、学校にこんなお話があったそうです。

「子ども達のために何かやりたくて、いてもたってもいられません！」

八幡小学校では、これまで、地域の方と子ども達が一緒に草取りをし、作業を通して交流を深める活動を行ってきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で実現できていません。今回、このような申し出を受けた学校は、市と相談の上子ども達は参加しないで、地域の方のみで作業をしていただくこととし、環境整備活動等が行われることになりました。

当日は11人もの地域の方々が集まってくださいました。

【活動を提案して下さったNさんに想いをお聞きしました】

学校から呼びいただくだけでなく、子ども達の為に、自分達から動きたいと思っています。周りの人にも声をかけて活動に誘うようにしています。



ポイント

地域の方の想いをお聞きすることで活動が生まれた事例です。日頃から気軽にお話しする関係づくりを大切にしたいですね。



■ コロナ禍でもできる「交流」を

作業開始は8時ですが、7時半過ぎから地域の方が少しずつ集まってこられました。集まった皆さんで、近況報告や農作業の進み具合など、わいわいとお話が弾み、ボランティアさん同士の交流の場にもなっていました。

昇降口では、手を振りながらあいさつする様子が見られます。八幡小学校では、今年度の重点目標「つなげる・つながる 八幡っ子」を目指し、昇降口で手を振ってあいさつをし、登校してきた子ども達が、次に登校してくる友だちに手を振って…と「つなげて」いくあいさつを始めています。地域の皆さんも、昇降口で手を振りながら笑顔で子ども達を迎えていました。地域の方と子ども達も、挨拶を通じてつながりを深めていました。



ちょっとしたやりとりで、「顔の見える関係」ができていきます



活動の様子を見た子が「お手伝いしたい」と短時間参加していました

地域の方が校庭の草取りをしてくださることは、事前に担任の先生を通じて子ども達にも伝えられていたそうです。活動の場を近くしたり、動線を重ねたりすることで、地域の方との自然な交流が生まれていました。

ポイント
活動の時間、場所等の工夫
で様々な関わりや交流を生み出すことができます



ご活用下さい！

「地域で支える学校サポート活動実践事例集」

各校のコミュニティスクールの取組をまとめた「地域で支える学校サポート活動実践事例集」が学校に1冊ずつ配付されています。どのような学校支援の活動が行われているのか、コーディネーターはどんな立場の方が務めているのか、また地域との連携・協働によってどのような効果や変化があるのかなど、多くの情報が掲載されています。活動の参考にしたり、他校と連絡を取り合うきっかけとしたりして、活用してください。

ぜひ、活用の状況やご意見などもお寄せください。



地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたらと思います。

■■ お問い合わせ先 ■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1
Tel: 026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 14（令和2年7月） 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

すべての公立小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下、「信州型CS」）の仕組みが整い、コミュニティスクールの充実に向けて、それぞれの学校や地域で工夫した活動が広がっています。第14号では、新型コロナウイルス感染症による休業後の活動について紹介します。

緑ヶ丘小



「放課後の消毒作業にPTAも協力」

新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、学校生活が始まって1ヶ月が過ぎました。これまでとは異なる対応に、学校現場も戸惑うことが多いかと思います。そんな中で、長野市立緑ヶ丘小学校では、PTAの皆さんが学校へ足を運んで、新型コロナウイルス感染防止対策に協力をしています。

子ども達の下校後、次の日の授業準備等の業務に加えて、毎日行う消毒作業は先生方にとって大きな負担となっていたそうです。特に会議が入る日は、時間的にも大変だったことから、学校とPTAとが連携し、会議がある毎週月曜日と木曜日の消毒作業を保護者の皆さんが行っています。

■ 作業をスムーズに進める為の工夫

【参加者の募集】

作業の参加者は、長野市で多く使われている、Microsoft Forms（フォームズ）というサービスを使って募集されています。フォームズは、アンケート等を作成して送信し、その結果を表示できるアプリだそうです。緑ヶ丘小学校では、休業中も保護者との連絡にこのアプリを使っていたそうです。

参加者の割り振りは、PTA会長さんをはじめ、役員さんが集計して一覧表にします。当番表は学校から通知として配付し、保護者の皆さんに伝えられています。

【グループ分け】

集合した後は、PTA会長さんの短い挨拶があり、すぐにグループ分けが行われました。グループ分けは、会長さんが2人ずつ組にして1年生の教室から順番に割り振っていました。

初めて一緒に作業するペアもあったようですが、作業を通じて会話も生まれ、保護者同士の新たなつながりもできていました。



【作業は短時間で～集合から終了まで長くても50分で～】

①作業内容が一目で分かる「作業シート」

作業の内容が、写真つきで1枚のシートになっています。何をするかすぐ分かるので、細かな説明が必要ありません。また、後で見返す事ができる良さもあります。

作業に使う用具と共に渡されていました。

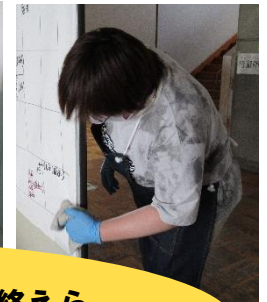
②実際の場所で説明

作業シートを渡すだけでなく、実際に作業場所へ行き、PTA役員さんが一通りの動きを皆さんにやって見せていました。

「椅子の背もたれやドアの取手等、子ども達が触る場所もお願いします」と感染症対策のポイントとなる大事な事柄についても説明されていました。

③作業終了は校内放送で

作業終了の目安は校内放送でも伝えられており、長時間にならないよう、配慮がされていました。作業が終わった方から流れ解散となっていました。



先生の声、保護者の声



A先生

消毒の作業には通常20～30分かかります。児童の下校指導をして、会議を終えてからの消毒作業は本当に大変でした。保護者の皆さんに作業していただいて、とても助かっています。
非常に丁寧に消毒してくださるので、翌日安心して子ども達を迎えることができます。



ポイント

効率よく作業を進め、短時間で終われることで、参加しやすい方が増え、多くの皆さんに協力していただけます。



保護者Bさん

今年は参観日も無く、PTAの仕事もほとんど中止になりました。せめて自分にできることをしたいと思って参加しています。

「できる人が できる時に できる事を」

学校・家庭・地域が連携・協働していくコミュニティスクールの活動は、持続可能でありたいものです。多くの方が参加し易いような、時間設定や申込みの方法など、学校や地域の実情に合った方法を見つけていくことで、「できる人が、できる時に、できる事を」行える体制を整えていきましょう。そのためにも、学校のニーズや、地域の実情などの情報を共有する機会が大切です。

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡いただけたらと思います。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1
Tel: 026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp